

所管課		健康増進部介護高齢課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第2章 共生共感都市			04 高齢者福祉			01 長寿社会を支える仕組みをつくる										
事業：在宅高齢者支援事業													整理番号	0111			
目的	高齢者が住み慣れた地域で自立し安心して生活が送れるよう、その生活の基盤となる環境整備を推進する。																
目標	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、その生活の基盤となる環境整備を推進する。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		20,970		コスト情報・評価	総コスト(千円)		32,873		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		17,558		内訳	事業費		20,970			効率性		A			
		国府支出金		3,034			人件費		11,903			有効性		B			
		地方債		0			公債費		0			それぞれ適正に事業が実施できていると考えるため。					
		その他特定財源		378			一人あたり(円)		291								
							世帯あたり(円)		697								
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	在宅高齢者支援事業の各細事業について適正に実施できたため。											
今後の方向性	引き続き高齢者が安心して生活を送れるよう事業を継続する。																

事業 優先順位		5	細事業:高齢者支援事業				整理 番号		11
目 的		高齢者が住みなれた地域で、自立した日常生活を継続できるよう支援する。							
目 標		高齢者が住みなれた地域でより安全に自立した生活を継続できるように生活環境を整えながら支援する。							
事業 実施主体		委 託	事業開始 年 度	平成23年度	根拠 法令				
事業費・財源			平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数 参考			平成24年度	比 較
	事業費(決算額)(千円)		5,600			総コスト(千円)		6,394	
	一般財源		5,600			事業費		5,600	
	国府支出金		0			人件費		794	
	地方債		0			公債費		0	
	その他特定財源		0			一人あたり(円)		57	
			0			世帯あたり(円)		136	
			0			職員数(人)		0.10	
			0			再任用職員数(人)		0.00	
	今後の 方向性		引き続き、安心安全に自立した生活が送れるように適正に実施していく。						
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	ひとり暮らし高齢者など				
	A	A	B						

事業：在宅高齢者支援事業

1. 在宅高齢者支援事業

高齢者が住みなれた地域で自立した生活が送れるように、河内長野市内の3箇所の地域包括支援センターと協力し、その生活の基盤となる環境整備の推進を図った。

細事業：高齢者支援事業

1. 高齢者支援事業

委託料 5,400,000 円

住みなれた地域で自立した日常生活を継続することができるよう、在宅のひとり暮らし高齢者、緊急通報システム事業登録高齢者等の身体状況や生活状況の調査等を、地域包括支援センターへ委託し、支援を必要とする高齢者等の早期発見、緊急連絡先の把握等を行った。

事業名	緊急通報システム出動	住宅改修支援事業	徘徊高齢者 SOS 情報発信	ひとり暮らし高齢者実態調査	緊急通報システム登録者訪問調査
件数	12	134	1	315	428

2. 地域ケア推進事業

高齢者が地域で自立した生活が送ることができるよう、医療、介護、生活支援サービスなど切れ目なく適切に提供される地域ケアシステムの構築をめざした。そのために、介護等事業の PR、高齢者や高齢者を取り巻く環境理解を深めるため、河内長野市いきいき介護フェスタをいきいき健康展と同時開催し、600人が参加した。

(内容) 講演会 午前「認知症の妻と明るく元気に生き生きと」

講師 認知症を抱える河内長野家族の会 富岡 廣志氏

午後「養生訓を現在に活かす」

講師 河内長野市医師会 山口診療所院長 山口 竜司氏

イベント 舞台 介護支援専門員協会による寸劇等

ケアネットワーク会議（介護サービス事業所の連絡会）等によるコーナー

介護食の試食会 等

